

番椒未醬炙食亦佳、

〔重修本草綱目啓蒙二〕十南瓜。ボウブラ。ボウブナ。肥前。ボブラ。加州。ナングハ。仙臺。〇中略

京師ニテハ誤テカボチャト呼ブ瓜形圓扁ニシテ豎ニヒダアリ、初ハ深綠色、熟スレバ黃赤色、筑紫ニ産スル者ハ、形甚大ニシテ徑リ尺餘ニ至ル、一種形長ククビアリテ、壺ノ形ノ如シテ深綠色、又熟シテ黃色ニナル者アリ、是ヲトウナスピト云、一名カボチャ、カボチャボウブラ、ナンキンボウブラ、日向ウリ、豫州是群芳譜ノ番南瓜ナリ、一種細腰、壺盧ノ形ノ如クナルヲク、リボウブラト云、又一種アコダウリハ、紅小ニシテ六寸許、正圓ニシテヒダナク、皮色赤シ、集解ニ、或紅ノ字アレバ、紅南瓜ト名クベシ、汝南圃史ニ、南瓜紅皮如丹楓色ト云ハ、アコダウリナリ、北瓜青皮如碧苔色ト云ハ、ボウブラナリ、備前ニ金冬瓜ト呼者アリ、形長ク越瓜ノ如ニシテ、皮赤色ナリ、傳言フ、浮腫ヲ治スト、

增〇中盛京通志云、南瓜種出南番、故名、其形圓而長、倭瓜類、南瓜深黃色而味較其形扁、本草不分爲二、今因俗呼分之、コノ説ニ據ル時ハ、南瓜ト云モノ、トウナスビニシテ、番南瓜ハボウブラナリ、ソノ倭瓜ハ番南瓜ノ一名ナリ、コレ群芳譜ノ説ニ反ス、

京師ニテカボチャト呼モノハ、春月種ヲ下シ、甚ダ蔓延ス、葉ノ形蜀葵ノ如ニシテ五尖アリ、處處ニ白斑點アリ、夏月葉間ニ花ヲ開ク、大サ三寸許、五瓣ニシテ黃色、瓣ニ皺多シ、中ニ淡黃色ノ藥アリ、甚アダバナ多シ、

南瓜傳來

〔安齋隨筆 前編十五〕南瓜。カボチャと云、一名ボウフラと云、カボチャは其出處の地名にてボウフラは其瓜の變名なるべし、暹邏と云國の東南に占臘國あり、又眞臘とも書く、一名東埔寨とも云、カンボチャとよむ、採覽異言に見たり、此カボチャ瓜、予〇伊勢が幼少より弱冠のころ、享保年中までは市にて賣らず、無が故也、稀に人の家園に種る者も有し、長崎などより、其種を傳來せし